



重富小学校 学校便り

令和7年度 1月号

創立137周年

(重富小HPアドレス)

<http://www12.synapse.ne.jp/sigetomisyo/>

学校  
教育  
目標

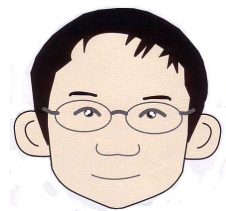
「剣の平」に誓う 光り輝く重富の子

学校キャッチフレーズ

well-beingな学校

今年もよろしくお願いします

校長 平 千力



新年、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。  
どのような新年を迎えられましたか。それぞれの思いがあられたことでしょう。  
素晴らしい1年になりますように。

子供たちの自律

冬休み。学校閉庁日の寒いある日の朝。学校の裏山に向かって行く女子がいました。裏山の花に水をかけていました。また、別の日にも。同じ姿がありました。学校での学習で、自分たちがしないと思ったのでしょうか。自律した子供たち。自分にできることを毎日する。そうすることで自分も成長していくと実感した瞬間でした。

マイペース

「あれ、今回は身体が動く。」「行けるかも。この際、行けるところまで行ってみよう。」私は、1月11日。いぶすき菜の花マラソンに今年も参加しました。強風、雨、あられ、低温という最悪のコンディションの中でした。今までのマラソンでは、「4時間台」という目標をたて臨んでいました。今までは1kmごとにラップを図り、1Km5分ペースを目標に走っていました。そうすると私の身体では、20kmまで。20kmから大幅ペースダウン。この繰り返してした。

今回。「最後まで走り抜く」を目標にしました。そして「時計は見ない」を目標にしました。影響を受けやすい私は、箱根駅伝で黒田朝日選手が「時計は見ない」と言ったので、また、家族からもそうしたらと促されたので、時計は見ないで走ることにしました。「42.195km。1回も歩くことなく、最後まで走り切るには、ペースは？」と考えながら走り始めました。最初の5km。どんどん抜かれています。多分3000人以上に抜かれたと思います。ペースが遅いので。それでも我慢。10km。我慢して走っているので身体へのダメージはほとんどありません。20km。「あれ。いつもと違う。まだ行けるぞ」しかし、ペースは最初と変わらず。「あれ。おかしいぞ」。ペースは同じなのに、どんどん他の人たちを追い抜いている自分に気付きました。中間点。いつもなら、やっとの思いでたどり着くところですが平気です。25km地点。「5時間」のビブスを着たペースメーカーの方を追い抜きました。「えっ。本当に。まだ平気だぞ。」少し、ペースアップしてみよう。「まだ、まだ行けそうだ。」さすがに35km過ぎるときつくなりましたが、あと少しなので粘りました。今年の菜の花マラソンは、見事「最後まで走り抜く」の目標達成。しかも、久しぶりの「4時間台」でのゴール。

「マイペース」これが、今回の私の選んだ作戦でした。マイペースでいるには、相手に惑わされないこと。そして、我慢すること。さらに、それまでしっかり練習をすること。それを全部、受け止めて、自分を知ること。最後に、自分ならできるという強い思いをもつことが必要だとわかりました。大切なことを学んだ、菜の花マラソンでした。



プレハブ校舎 建設中